

■成功者と失敗者の条件

	成功者は	失敗者は
1	人間的成長を求め続ける。	現状に甘える。現状から逃げる。
2	自信と誇りを持つ。	ぐちっぽくなり、言い訳を言う。
3	常に明確な目標を指向する。	目標が漠然としている。
4	他人の幸福に役立つ喜びを持つ。	自分が傷つくことは回避する。
5	自己訓練を習慣化する。	気まぐれで場当たりの。
6	失敗も成功へのプロセスと受け取る。	失敗を恐れて何もしない。
7	今ここに全力投球する。	いつかはやるといって引き延ばす。
8	自己投資を続ける。	途中で投げ出す。
9	何事も信じ行動することができる。	不信感が先に立ち行動できない。
10	時間を有効に活用、段取りする。	時間を主体的に創ろうとしない。
11	できる方法を考える。	できない理由が先にでる。
12	可能性に挑戦し続ける。	安全圏の殻にとじこもって不可能と思う。

これは、ある東信地域の製造業の会社で、いつも社員が目にするところに掲示されているものです。どういう人が成功者なのか、失敗者なのかという議論はさておき、社会人として、会社の一員として、より良い品質の製品をつくる製造会社となるよう、社員一人ひとりに自覚・意識させることで、信頼される会社、成長・発展する会社を目指したものだそうです。

諸君も、いまの生活についてすべて振り返ってみてください。社会人として必要とされる資質や考え方と比べると、今あまい生活を送っていると思う人がいそうですね。会社で勤めることは大変なことです。諸君は、いまから本校での生活のなかで取り組めるところから取り組みはじめ、改善すべきは改善してみてもはどうでしょう。できなかったことをできるようにする、一歩踏み出して取り組んでみましょう。社会人になるまで、もう数年しかありません。**当たり前前**のことが**当たり前前にできる**、この姿勢が社会人になるための第1歩です。これこそが、小海高校が人間教育の場であるのです。



■公共物を大切に！

みなさんの机やイスを個人の所有物と思っている人はいませんか？
毎日利用している物なので、あたかも自分の物のように蔑(ないがし)ろに扱っている様子が見られます。とりわけ、**机への落書き**。落書きの内容が他人のことを誹謗中傷する言葉はもちろんですが、絵を描いたりすることも、絶対にいけません。みなさんの机やイスは一年後には一つ下の学年の人達が使用します。入学や、進級して「よし、頑張るぞ!」と思っている所、机やイスが汚れていたりしては嫌ですね。移動教室で授業を受ける机への落書きも、利用する人の学習意欲を阻害します。自分がやられて嫌なことは行わない。人間の基本です。公共物に限らず、どんな物であっても大切に扱う人になって欲しいと思います。